

授業科目名	ハンドリング学Ⅰ		科目コード	2402012		
開講クラス	動物健康管理学科	コース	ペット美容・グルマーコース	学 年	1 年	
担当教員	飯田 慎司					
	実務経験教員（ ☒ 有 ・ 無 ）					
	実務経験内容					
	JKC公認トリマー教士					
	神戸市でトリミングサロン開業					
日本はもとより、海外でのドッグショーでのハンドラーとして現在も活躍						
開講時期	☒ 前期・後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	15時間	
	☒ 必須・選択・選択必須			単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	ハンドリング マニュアル				
	著 者	森 喜夫、他				
	出版社	社団法人 ジャパンケネルクラブ				
使 用 テキスト2	書 名					
	著 者					
	出版社					
参考図書	全犬種標準書					
授業形態	☒ 講義・演習・実習・実験・その他（ ）					
＜授業の目的・目標＞						
ハンドリングを学ぶことで、更に犬への理解を深め、「見せる」ことの重要性身に付けることで、それらをトリミングに活かしていく						
＜授業の概要・授業方針＞						
ドッグショーの歴史から犬の体の構造、ショー用のグルーミングの知識まで幅広く学習することで犬に関する理解を深め、リードワークなどの実践を行う事で犬との「親和」を確立することの大切さを学ぶ。						
＜成績基準・評価基準＞						
後期に筆記試験において評価を行う。筆記試験は、前期の授業内容とテキストから出題をする。100点満点とし、80点以上「優」、70点以上「良」、60点以上「可」59点以下を「不可」とする。「不可」の者は追試験を行う。追試験でも合格点に満たなかったものは、「評価なし」とし進級認定会議時に審議を行う。						
＜使用問題集・注意事項＞						
＜関連科目他＞						
犬学						
グルーミング理論						
グルーミング実習						

授業科目名		ハンドリング学Ⅰ
回	授 業 内 容	備 考
1	ハンドリングとドッグショーの歴史	
2	犬に関する基礎知識	
3	犬の体の構造①	
4	犬の体の構造②	
5	犬の体の構造③	
6	審査のポイント①	
7	審査のポイント②	
8	ハンドリングとは①	
9	ハンドリングとは②	
10	スタックとは①	
11	スタックのさせ方①	
12	リードのかけ方、持ち方①	
13	歩様について①	
14	歩行について①	
15	まとめ	